

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月21日			
平成15年度	事業コード	21220	電話	042-772-0218
担当部課名	環境事業部	橋本台収集事務所	管理	係
事務事業名	ごみ収集車両維持管理費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル型社会の構築	63以前年度
施策名	第2施策	廃棄物の適正処理の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の処理及び清掃に関する条例	道路運送車両法
------------------	------------------	---------

3 事務の区分

自治事務	その他の経費	市単独事業	なし
------	--------	-------	----

4 経費の区分

5 事務事業の分類

6 受益者負担

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
一般ごみの収集に使用する塵芥車の安全で効率的な運行を確保する。環境面においては、省エネルギー等環境に配慮し使用燃料の節減を図ることを目的とする。	橋本台収集事務所の収集区域内市民
	対象数 300000
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
<ul style="list-style-type: none"> 計画的、効率的な予算執行を行い環境面においては次の点を重点に実行する。低公害車(LPG車)の積極的な導入・運行による有害排出ガスの削減 <p>総事業費 33,038千円 需用費 29,575千円 役務費 1,963千円 公課費 1,500千円</p>	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	なし
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	Nox排出率	$\frac{\text{前年のNox排出量}}{\text{前々年のNox排出量} \times 100}$	ディーゼル車からLPG車への切り替えによるNox排出量を比較する。	94	88	88	93	49
活動指標	ディーゼル車占有率	$\frac{\text{ディーゼル車台数}}{\text{総台数}} \times 100$	総稼働台数におけるディーゼル車の割合を比較する。	70	67	52	43	28

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	31,637	32,774	33,038	37,602	39,000
決算(予算)額	31,637	32,774	33,038	37,602	39,000
人員・時間数	1人	1人	1人	1人	1人
人件費	8,390	8,390	8,390	8,390	8,390
その他経費					
合計	40,027	41,164	41,428	45,992	47,390
特定財源	0	0	0	1,020	1,020
対象数	290,000	290,000	300,000	300,000	300,000
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
		説明	コスト面等からLPG車の導入が遅れている。			
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている			
	B: 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している			
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない			
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 低公害車の積極的な導入は環境負荷への軽減を図り環境面における時代変化に 適応している。			
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である			
	B: 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている			
	C: 有効ではない					
		説明	LPG車を導入することで環境への負荷を軽減することは明白である。			
(4)効率性 評価 B ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている			
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている			
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている			
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない LPG車はディーゼル車より燃費が悪く車両価格も高価である。			
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である			
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である			
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)			
		説明	管内全市民を対象としている。			
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額			
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 経済性・効率性より環境重視の視点で考えれば、より多くの低公害車の導入も考えられる。		手段	収集業務を市直営で実施し、環境負荷の軽減を考えると 困難と思われるが、より経済性・効率性のある低公害車の 導入によりコスト改善の余地はある。		
			削減額	千円		

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 本事業は、一般ごみ収集に欠かせない事業であり、更なる省エネルギーや有害排出ガス削減等環境に配慮したなかで、安全で効率的な業務実施をしていく必要がある。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--